

令和元年度第3回京都府生徒会連盟

議題1「残り2か月。何ができるか」議事録

議長：奥野公三 書記：両角華

1. 議題概要

2月に入り、新学期まであと2か月となった今、生徒会において、そしてこの外務という場で自分たちが何をすべきかを今一度見直し、残り2か月という短いスパンの中での目標をあらためて参加者に設定してもらおう。

2. 議題の流れ

i. これまでの「自分の軌跡」を見直す

→生徒会活動の中でどんな事をしてきたか、どんな工夫をしてきたか、結果として何が得られたかを付箋に書き出す。

ii. iで話した「自分の軌跡」を残すために何ができるかを話す

→何ができるか、大まかに意見を出してもらい、それぞれについて工夫できる事を話し合っていく。

引き継ぎの上で工夫できること

- ・ 一緒に活動する
- ・ 「生徒会はどうあるべきか」を1年生と共有/ディスカッション
- ・ 生徒会の仕事内容の把握（生徒会の仕事だと分かりにくいものなど）
- ・ 今1年生の人は「生徒会に入った時～今日までの心境の変化」などは残しやすいのでは？
- ・ 生徒会でできることとできないことの棲み分け

自分のやったことに名前を付けてみる

iii. 今から何か新しいことはできるかを話し合う

→これまでの経験を生かす/やり残したことをやり遂げる/さらに挑戦し続けるために何か新しいことはできるか話し合う。

- ・ SNSでの情報発信を活発化させたい。
- ・ 普通の生徒でも熱意を持って生徒会に関われるようにしたい。
- ・ 新しい企画・立案をしてみたい。
- ・ 新しいモニュメントを作りたい。

- iv. 以上を踏まえて、残り2か月で、
- ・生徒会活動の中でどう過ごしていきたいか
 - ・そのために外務でどんな事がしたいか
- を参加者ひとり一人に目標として立ててもらおう。

3. 議長コメント

今回の議題は何らかの結論を全体で導き出すようなものではなく、参加者ひとり一人にこれからの見通しを持ってもらう目的で行いました。普通に議題に慣れている班員の方には少し取り組みづらかったかもしれませんが、今回他の人の意見を聴きながら立ててもらった目標をしっかりと遂行してくださることを期待しています。

今回この議題に参加しなかった方も、短期での目標を定期的に立て、今やるべきことを明確にした上で生徒会活動に励んで欲しいと思います。